

サンガーデン便り

苫小牧市サンガーデン
〒053-0011
苫小牧市末広町3丁目1番15号
☎0144-33-4411

令和2年2月号



<館内の見どころ>

館内では、シンビジウム、ジンチョウゲ（沈丁花）、晩生のツバキなどの花が咲いています。黄色い夏みかんやバナナ、まだ小さなビワの実も鑑賞できます。

<2月の催しものの案内>

◎バターナイフ作り

2月22日（土）午後1時30分～3時30分、1階展示実習室、2月1日から受け付け、先着14名、教材費300円

◎ヒヤシンスで水耕栽培

2月23日（日）午後1時30分から3時30分、1階展示実習室、小学生以下のお子さんと保護者の方、2月1日から受け付け、先着14組

◎ファーストスプーン作り（離乳食用の木製スプーン）

2月29日（土）午前10時～12時、2月1日から受け付け、先着10名

◎合格祈願の絵馬設置 合格の願いが成就するよう、後日樽前山神社へ奉納します。

<2月の園芸作業>

日照時間が少しずつ長くなり、陽射しも徐々に強くなってきます。草花は窓辺に置き、丈夫に育てましょう。

☆鉢花・鉢植え花木 シクラメン、プリムラ類など冬から春に咲く草花は、暑さが嫌いです。日中でも15～20℃のやや涼しい日当たりに置きましょう。傷んだ花や黄化した葉をこまめに摘み取り、液肥（1000倍）を1～2週に1回の目安で与えると、長く花を楽しめます。花が終わったツバキ、シャコバサボテンなどの鉢は、日の当たる涼しい所に移動し、水も控えめにし、新葉が徒長しないように管理しましょう。クンシランは花芽が確認できるまでは5～10℃で管理します。貯蔵中のダリアの球根を点検し、乾きすぎている場合は保護材料と球根に霧吹きし、水分の補給をします。

☆観葉植物 最低温度7℃以上を目安に管理します。冬季の室内は乾燥していますので、こまめに霧を吹くなどして空中湿度の保持にも努めます。肥料は必要ありません。室温が暖かく乾燥していると、カイガラムシやアブラムシが発生します。定期的に湿らせた雑巾で、害虫と汚れを拭きとってあげましょう。

☆洋ラン この時期はさまざまな種類のランが蕾（つぼみ）をつけ、花茎を伸ばし開花します。蕾をつけてから開花が終わるまでは水を切らさない様にします。また、蕾のふくらみが確認できたら、なるべく日当たりの良い場所で管理し、日が差し込む方向に葉やバルブを向け、開花するまで動かさないようにします。ラン類は、冬は施肥を止め、春から秋の時期の新しい葉がでて草丈が伸びる成長期間だけ肥料を与えるようにします。

☆野菜 家族みんなで今年の栽培計画をたて、種子の手配などの準備を始めましょう。

☆果樹・庭木 2月下旬からウメ、リンゴ、サクランボの剪定を開始できます。花芽を残しながら枝葉を整理しましょう。すでに樹液の上がっているモミジ・カエデ・シラカバや常緑針葉樹のイチイなどは春の剪定は行いません。



<苫小牧の気象>

2月の太平洋側の天候は、例年通り晴れの日が多いものの、気温は平年並みで、降水量はやや多め、日照時間はやや少ないと予報されています。

